

令和5年度 事業計画

1 基本方針

新型コロナウイルスとの闘いが、4年目を迎えています。これまで感染拡大の波が繰り返される中、事業計画の推進にあたっては、感染防止を最優先に人的交流を極力避ける等の対応から、シルバー事業の周知又は会員の入会促進のイベント等を中止、縮小等せざるを得ない難しい取り組みとなりました。

コロナ禍の影響は、全国シルバー人材センター事業協会の「会員100万人達成計画」にも及んでおり、大幅な会員の減少から当面コロナ前の水準に戻すことを最優先に取り組むこととする計画の変更も余儀なくされているところです。

会員の加入促進の取り組みは、平成24年度以降当センターの最重要課題と位置づけ取り組んできたところではありますが、人口減、高齢化の進展という厳しい情勢に加え、コロナ禍により当センター最大のイベントである会員と市民の交流の場「夕焼けの集い」が3年連続中止となる等、会員加入促進の積極的な取り組みが出来なかったことも重なり入会促進は厳しい状況が続いています。

超高齢社会の本市で会員の減少及び高齢化は、除雪業務など現業関連職種において「頼れるシルバー」として期待に応えられない事態や、事業者からの労働者派遣要請に対する安定的な派遣が厳しさを増すなど表面化しています。

このように会員の減少は、「頼れるシルバー」の維持はもとより当センターの存亡にも迫る極めて厳しい課題であり、引き続き、会員の加入促進を事業計画の最重点事項として取り組むこととします。なお、事業推進にあたっては、「コロナ禍」の感染状況を注視し、会員の感染・拡大防止を最優先に取り組めます。

2 事業目標

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 会 員 数 | 1 5 7 名 |
| (2) 契 約 金 額 | 3 5, 0 0 0 千円 |
| うち、個人（一般）契約金額 | 8, 0 0 0 千円 |
| (3) 就 業 延 人 員 | 1 2, 0 0 0 人 |

3 事業計画

(1) 会員入会促進及び就業体制整備

①「1 会員 1 名入会」活動の取組み

役員・会員による知友人等への地道な勧誘活動が新規入会の実績を上げており、引き続き「1 会員 1 名入会」活動に取り組みます。また、広報紙の活用のほか、会員による同好会等の開催に会員以外の一般高齢者の積極的な参加を募り、会員との交流を通してシルバー事業への理解を得るとともに入会促進を図ります。

②高齢者活用・現役世代サポート事業の取組み

育児分野、人手不足分野等における指揮命令のある職域での就業機会を創出し、多様な職種と就業態様の選択肢を確保することにより新規入会が促進されるよう、情報収集及び企業訪問等を実施し就業先の開拓を図ります。

③会員の技術向上及び後継者の育成

適宜各種講習会を開催し会員の技術向上を図るとともに、会員以外の一般高齢者への参加も呼びかけ入会が促進されるよう務めます。また、冬囲い等の特定の職種において就業会員が不足する状況にあり、技能を有する新規会員の加入促進を行う一方、就業を希望する会員に対し、指導会員の就業に同行させて実技指導を受ける後継者育成訓練を実施し後継者の育成を図ります。

④就業希望業種調査の実施

会員の体調等に合わせた就業業種の希望調査を行ない、受注業務の公平な振分と未就業者の解消及び就業率の向上を図ります。

(2) 事業運営の効率化

①業務運営のデジタル化促進

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が行う「デジタル化整備促進事業」に参加し、業務運営のデジタル化を促進することで事業運営の効率化を図ります。

②会員のデジタル利用の推進

前項の業務運営のデジタル化を進めるにあたり、センターと会員間の連携を図るアプリ等について、会員が積極的に活用できるよう利用問い合わせ窓口を設置します。

(3) 広報活動

① 広報紙「生きる」の発行

シルバー人材センターの事業・活動を理解してもらうため、広報紙「生きる」を定期的に2回(1月、6月)発行し、必要に応じて臨時号を発行します。また、会員の入会促進を図るため、就業情報を掲載したチラシの新聞折込を適宜行います。

② 「夕焼けの集い」開催

会員相互の親睦及び一般市民との交流を目的に「夕焼けの集い」を開催し、当センターの日頃の活動を紹介するとともに、会員の加入促進と受注拡大を図ります。

(4) 会員の意識改革と運営への参加

① 事業運営状況等情報の共有化

会員減少と今後の事業運営への影響など、当センターが抱える問題について情報の共有化を図るため、適宜会員に対し事業運営状況などの情報提供を行うとともに、会員からの意見・情報を収集し事業運営に反映させるよう努めます。

② 会員の事業主意識とサービス向上

会員自らが事業主であるという意識をもち、発注者に対する接遇や丁寧な仕事で再発注につながる就業に努めながら、シルバーの活動についてPRし、受注情報を得るよう、会員に対しあらゆる機会を通じて指導・要請を行います。

(5) 安全・適正就業と事故防止

① 安全就業の徹底

「安全は全てに優先する」を念頭に置いた就業を徹底し、人身事故はもとより物損事故「ゼロ」に向けて、安全就業委員会を中心に取り組みとともに、適宜事故防止のための講習会を開催します。特に、刈払い機よる事故防止の取組みは、作業前の点検、防具の設置及び作業終了後の点検励行を徹底します。

② 適正就業の推進

請負、委任、派遣等の仕事の受注及び会員の就業の仕方について、法令を遵守し適正に行われるよう取り組みます。特に、請負については、会員各自の体力、能力に基づき仕事を完成させることを再確認し、時間による就業意識の改革を図ります。

(6) ボランティア活動の実施

地域社会に育まれた当シルバー人材センターの謝恩の意味と公益活動の一環として、公共施設等の清掃ボランティア活動を実施します。

(7) 職業紹介

高齢者に適した「臨時的・短期的及び短時間就業又その他の軽易な業務」を希望する高齢者を対象として、職業紹介事業を行います。